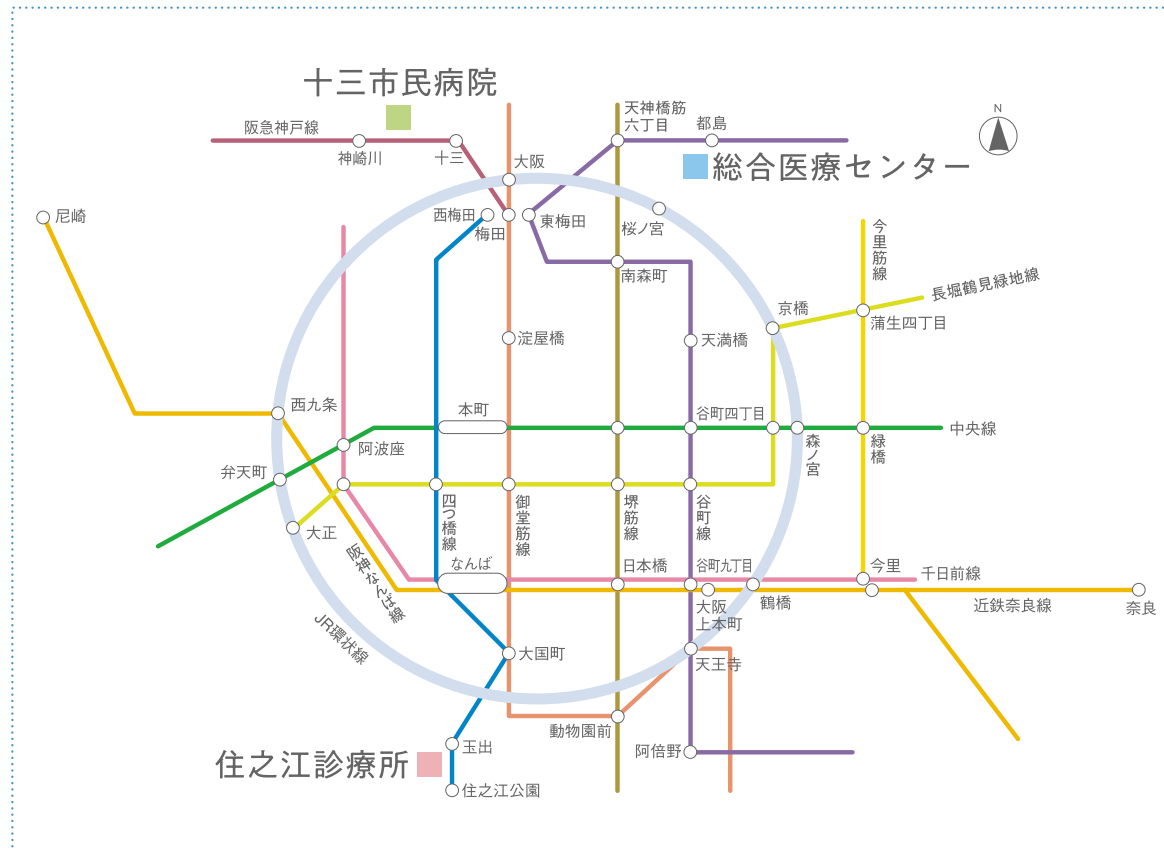


ACCESS GUIDE

[アクセスガイド]



十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
TEL.06-6150-8000

- 阪急神戸線「神崎川」駅から南東へ徒歩約8分

Instagram

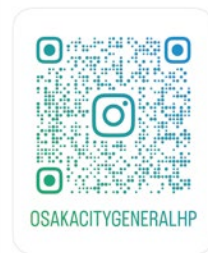


総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-1221

- 大阪メトロ谷町線「都島」駅2番出口から西へ徒歩約3分
- JR大阪環状線「桜ノ宮」駅東出口から北へ徒歩約7分

Instagram



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-3687 FAX.06-6929-7099
<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/>



RECRUIT BOOK

RESIDENT

臨床研修医 募集案内



OSAKA CITY HOSPITAL

地方独立行政法人
大阪市民病院機構

| 大阪市立 総合医療センター | 大阪市立 十三市民病院 | 大阪市立 住之江診療所 |

Create Future Healthcare

笑いの大阪から未来の日本の医療をリードする



OSAKA
CITY
HOSPITAL **3** POINT

01

人々の安心を守る
最後の砦(セーフティネット)

大阪市の中核病院として、
総合かつ良質な高度専門医療を提供。
人々の健康と安心を守る“最後の砦”として
市民の信頼に応えます。

02

地域がん診療連携拠点病院
小児がん拠点病院

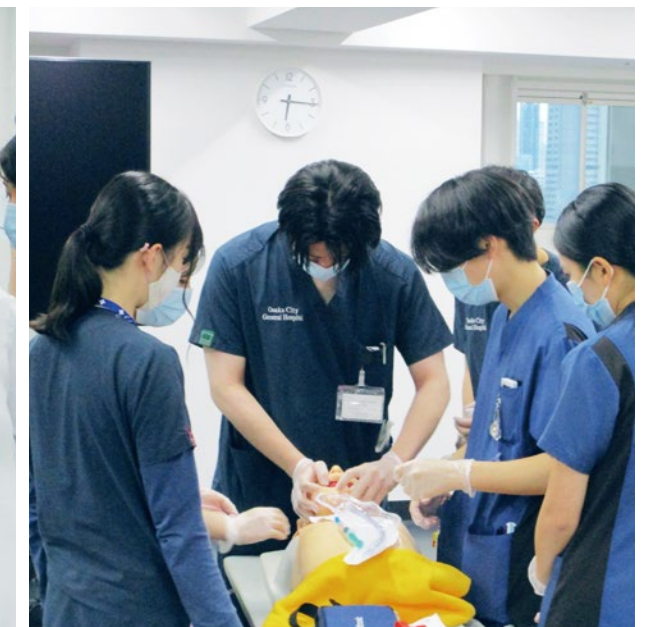
「地域がん診療連携拠点病院」と
「小児がん拠点病院」の指定を受け、
幅広い年齢層に対して専門的で質の高い
がん医療を提供しています。

03

専門分野だけでなく、
基本的臨床能力を確実に習得

豊富な症例数と充実した指導体制で、
専門分野の高い技術だけでなく、
幅広い分野の基本的臨床能力を習得できます。

PICK UP! 教育研修センター



病院の理念を実践できる人材の育成を。

医師をはじめとした医療専門職が、それぞれの専門性を高めることを支援するために、総合医療センターに教育研修センターを設置しています。教育研修センターは、基本理念を「医療全般にわたる知識・技術を身につける、人間味あふれる温かな医療を実践するにふさわしい医療人の育成をめざす」としています。そのために、医師、看護師および事務職員を配置し、研修生活全般のサポートを行っています。初期研修医の教育・育成に関しては、臨床の場ですぐに必要となる幅広いテーマについて、経験豊富な専門医や医療技術部門の協力を得て令和6年度は173回の臨床教育研修講座を開催しました。また個人面談を通じて研修状況を詳しく把握し、その他、メンター制度を実施する等、研修医を多角的にサポートする体制を取っています。後期臨床研修に関しては、総合医療センターは19の基本領域中13領域で基幹施設となっています。そのため、各領域の担当診療科と常に情報を共有するとともに、研修管理委員会等の開催を通じて、各領域専門研修プログラムの管理と改善に取り組んでいます。

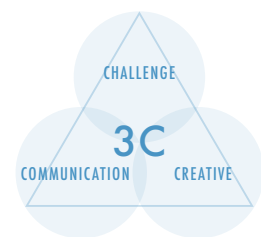
また、臨床研修においては、最新の医学情報を迅速かつ容易に入手できる環境が不可欠です。そのため、教育研修センターでは図書館の運営も行っていきます。現在、閲覧可能な電子ジャーナルのタイトルは6,600以上、電子ブックは26,800以上あり、UpToDateや今日の臨床サポートなどの臨床意思決定支援ツールも導入しています。今後も研修医の皆さんにとってより良い環境を提供していくために、各部門・各診療科と連携し、改善を続けていきます。

令和6年度
臨床教育研修講座 **173**回

閲覧可能な
電子ジャーナルタイトル **6,600**以上

電子ブック **26,800**以上

大阪市民病院機構の「3C」



CHALLENGE

常に問題意識を持ち変化を恐れずに
目標に向かって行動できる人

COMMUNICATION

病院で働くすべての職員と協力し課題解決にあたる人

CREATIVE

既存の方法・慣習にとらわれことなく
自由な発想で仕事ができる人



大阪市民病院機構の基本理念

広く市民に信頼され、人間味あふれる温かな医療を提供する病院をめざします

基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳を尊重します
2. より安心で信頼できる良質な高度専門医療を提供するとともに、医療水準の向上へ貢献します
3. 大阪市の中核病院として、地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化します
4. 医療を支える優れた人材を育成します
5. 職員が意欲的に働くことのできる、働きがいのある職場環境を作ります
6. 継続して良質な医療を提供できるよう、健全な経営基盤の確立に努めます



臨床研修病院としての役割・理念・基本方針

役割 基幹型臨床研修指定病院である大阪市立総合医療センターでは、質の高い医療を患者さんに提供するだけでなく、社会の医療福祉に広く貢献できる若手医師の育成を担っています。

理念 ● 医師としての人格を涵養し、人間味あふれる温かな医療を実践するにふさわしい医師を育成します。
● 頻繁に関わる疾病又は負傷に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につけ、チーム医療を実践するとともに、高度な専門医療を学び、広く市民に信頼され地域に貢献することができる医師の育成をめざします。

基本方針 ● 専門医療に特化するだけでなく、基本的な臨床能力(態度、技能、知識、情報収集能力、総合的判断力)を確実に習得する。
● 患者及びその家族に信頼されるコミュニケーション能力を習得し、全人的な医療を実践する。
● チームの一員としての自覚と協調性を持ち、看護部門、医療技術部門等との連携・協力によるチーム医療を実践する。
● 質の高い医療を提供できるよう、生涯に渡って学び続ける姿勢を養う。

初期臨床研修



どの専門分野にも求められる臨床能力を身につける。

初期臨床研修では、医師としての基盤を形成する重要な時期に、将来専門とする分野にとらわれることなく診療できる臨床能力を身につけることが重要であると考えています。初期臨床研修は、高度に専門化した各診療科を備える総合医療センターが中心となり各研修協力施設と連携しながら、専門医療だけでなく医師としての基本的臨床能力の確実な習得を図ることで、全人的医療を実践することができる幅広い視野を持った総合臨床医の育成をめざしています。

初期研修 3 POINT

1 豊富な症例数

市中病院でありながら、46の診療科を有し、大学院並みの症例数を誇る当院での初期研修は一般的な疾患から、専門医療を要する疾患まで、幅広く経験することが可能です。

2 充実した指導体制

当院には指導医養成講習会を受けた指導医が82名(令和7年10月現在)おり、各科に経験豊富な指導医が揃っています。また、看護部門をはじめとして薬剤部門、医療技術部門の協力も得ながら、病院全体で研修医の育成にあたっています。

3 質の高い研修環境

研修医に知っておいてほしい分野を扱った多種多様な各講座、専門分野の医師・技士の指導による実習、学会発表のサポートなど十分研修できる機会を設けています。また、他職種からも評価を受け、医療情報の入手環境の整備を行うなど、質の高い研修の提供に努めています。

INTERVIEW



市立総合医療センター
小児救急・
感染症内科部長

天羽 清子 さん

幅広くかつ深く共に学びましょう。

当院は、高度救命救急センター・外傷センター・小児医療センター・臨床研究センターなどを有しており、感冒などのcommonな疾患から3次対応の重症例まで、内科疾患から外傷をはじめとする外科的疾患まで、生まれてすぐの赤ちゃんから高齢者まで、臨床から研究まで、幅広く豊富な症例を勉強することができます。また、当院の良いところは、

細分化された診療科それぞれに専門家がいますが、科と科の垣根が低いため相談しやすく、患者さんを横断的に診断し治療につなげられることです。当院での研修は幅広くかつ専門的に行われ、必ずこれからの医師人生に役立ちます。忙しい研修ですが、是非私たちと一緒に学んでいきましょう。

研修プログラム

総合医療センターでは、各科の到達目標の特殊性を考慮して、内科(24週)、救急科(12週)、外科(8週)、産婦人科、小児科、精神科、地域医療(各4週)を必修としています。これらの科は研修の内容を配慮し、経験しておくべき科であると考えたことに加え、将来どのような科を専攻するとしても、残りの選択期間(44週)で十分な症例数を経験できることが大きな理由です。

高度に細分化・専門化されている当センターですが、医師として経験すべき初期対応能力の重要性も充分認識し、バランスの良い研修を提供するよう努力しています。また、チーム医療の意義を自覚してもらうため、看護部門をはじめとして薬剤部門、医療技術部門との交流も重視し、幅広い視野を持った研修医の育成を行っています。

▶ 研修スケジュール(例)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科(24週)						選択科(4週)	救急科(12週)			外科(8週)	産婦人科(4週)	
2年次	小児科(4週)	精神科(4週)	地域医療(4週)	選択科(40週)									

▶ 研修プログラム(令和7年度)

必須科目
7科目/計60週

○内科(24週) 10科から3科を選択

総合診療内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓・高血圧内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、感染症内科、腫瘍内科、脳神経内科
・大阪府立十三市民病院で内科(8週)を研修するコースが若干あり

○外科(8週)

・大阪府立十三市民病院で外科(4週)を研修するコースが若干あり

○救急科(12週)

○小児科(4週)

○精神科(4週)

○産婦人科(4週)

○地域医療(4週)

研修協力施設

・大阪府内

病院・クリニック

地域包括支援センター

訪問看護ステーション

・公立穴水総合病院(石川県)

・JCHO若狭高浜病院(福井県)

・日南町国民健康保険 日南病院(鳥取県)

・隠岐広域連合立隠岐病院(島根県)

選択科目
44週

○当施設に設置のすべての診療科の中から選択

▶ 研修診療科の選択

研修診療科の選択は、選択科を含め、各研修医の希望を考慮しながら決定します。研修の期間は4週単位で当該診療科と調整のうえで設定します。また研修の時期は2年次に地域医療研修を行う以外は診療科と研修医のバランスを考慮しながら、調整を行います。なお、地域医療研修は主に大阪府内のクリニックで行います。



後期臨床研修



後期臨床研修でなにを学ぶか。

後期臨床研修の役割は、初期研修で習得した基本的臨床能力を基盤に、高度な専門性とより幅広い臨床能力を身につけることだと考えています。総合医療センターを中心にすべての診療科で高度専門医療から地域密着型医療に至るまで幅広い診療を行っているため、高度な専門性と総合的な診療能力双方の習得が可能です。また、多数の専門医の研修指定施設に認定され、全国トップレベルの症例の豊富さと多様さを誇ることから、効率よく専門医資格を取得することが可能です。

後期研修 3 POINT

1 豊富な症例数

大学病院並みの症例数を有しており、多くの症例を経験できます。大半の領域で1~2年で専門医資格取得のために必要な症例数が確保でき、早い段階からサブスペシャリティを意識した研修が可能です。

2 魅力的な研修環境

専門知識を有する指導医が数多く在職しているので、安心して研修ができます。また、様々な専門資格を有する医師以外の医療スタッフが在職しているため、専門分野に限らず幅広い知見を得ることができます。

3 将来を見据えた研修が可能

当院は13の基本領域で基幹施設の認定を受けていますが、サブスペシャリティ領域でも多くの領域で基幹施設として申請する予定です。そのため、キャリアパスに応じた柔軟な研修が可能となります。

INTERVIEW

医師としての”土台”を共に築きましょう。



市立総合医療センター
教育研修センター長 兼
総合診療内科担当部長

山口利昌さん

当院は意欲的に、真摯に、貪欲に研修に取り組みたい皆さんをお待ちしています。医師としての貴重な一歩を当院で踏み出してみませんか。初期臨床研修期間は医師としての土台作り非常に重要な時間です。しかし、それは決して楽な道ではありません。あなた自身の医師としての覚悟が試されるような瞬間が訪れることもあります。ときには思い悩んで立ち止まってしまうこともあると思いますが、そこを乗り越えて、泥臭くても一歩一歩、前に向かって踏み出していくこと、その成長のためのプロセス全てが研修です。そして、試練を経て得られた経験、学びが医

師としてだけでなく、一人の人間としてのさらなる成長を促し、あなた自身を豊かにしてくれます。当院には毎年、全国から研修医が集い、互いに助け合い、ときに競い合いながら日々の診療に臨み、研鑽に励んでいます。指導医や上級医が診療科間の垣根を越えて、厳しくも温かい、丁寧な指導で皆さんの研修をしっかりとサポートします。研修では医療に関する専門的な知識や技術の習得はもちろん、患者や家族とのコミュニケーション、医療者間のチームワークの大切さも学んでください。

基本領域研修プログラム

平成30年度より新専門医制度における各科の専門研修プログラムに沿った後期研修を行っています。総合医療センターでは、19の基本領域のうち13の領域において基幹施設としての認定を受けており、各領域とも連携施設との連携を図りながら、専門医資格の確実な取得に向け充実した研修プログラムを提供します。

▶ 研修プログラム ※下記は一例であり、各専攻医の希望と受け入れ先との調整で決定します。

領域	診療科	研修期間	専攻医				連携施設等						
			1年目 (年後3年目)	2年目 (年後4年目)	3年目 (年後5年目)	4年目 (年後6年目)							
内科	総合診療内科	3	総合医療センター	連携施設 1年	総合医療センター		<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県立尼崎総合医療センター ●兵庫県立西宮病院 ●甲南医療センター ●奈良県立医科大学附属病院 ●東北医科大学附属病院 ●ツカザキ病院 ●豊岡病院 ●奈良県総合医療センター ●天理よろづ相談所病院 ●静岡がんセンター ●大津赤十字病院 ●今村総合病院 ●神戸市立医療センター中央市民病院 ●西宮市立中央病院 ●岡山大学附属病院 ●香芝生喜病院 など 						
	感染症内科												
	糖尿病・内分泌内科												
	腎臓・高血圧内科												
	脳神経内科												
	循環器内科												
	呼吸器内科												
	消化器内科												
	腫瘍内科												
	血液内科												
	緩和ケア内科												
	外科							3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター		<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立十三市民病院 ●大阪医療センター ●豊岡病院 但馬救命救急センター ●福崎病院 ●淀川キリスト教病院
	呼吸器外科												
心臓血管外科													
消化器外科													
乳腺外科													
小児外科													
小児心臓血管外科													
産婦人科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター		<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立十三市民病院 ●泉大津市立病院 ●石切生喜病院 など 							
産科													
婦人科													
麻酔科	麻酔科	4	総合医療センター		総合医療センター または十三市民病院	総合医療センター または連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸市立医療センター中央市民病院 ●大阪市立十三市民病院 ●大阪公立大学医学部附属病院 ●奈良県立医科大学附属病院 など 						
小児科	小児代謝分泌・腎臓内科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター		<ul style="list-style-type: none"> ●大阪旭こども病院 ●大阪急性期・総合医療センター ●厚岸総合病院 ●堺市立総合医療センター など 						
	小児血液・腫瘍内科												
	小児脳神経・言語療法内科												
	小児循環器・不整脈内科												
	小児救急・感染症内科												
	新生児科												
精神科	精神神経科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター		<ul style="list-style-type: none"> ●大阪公立大学医学部附属病院 ●総合病院 浅香山病院 ●天心会 小阪病院 ●社会医療法人北斗会 さわ病院 ●社会医療法人北斗会 ほくとクリニック など 						
児童青年精神科													
整形外科	整形外科	4	総合医療センター		連携施設		<ul style="list-style-type: none"> ●大阪公立大学医学部附属病院 ●大阪府済生会中津病院 ●淀川キリスト教病院 ●大阪ろうさい病院 ●大阪市立十三市民病院 など 						
	小児整形外科												
眼科	眼科	4	総合医療センター		連携施設	総合医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立十三市民病院 ●四方公済病院 ●西宮電力病院 ●京都大学医学部附属病院 など 						
	小児眼科												
救急科	救命救急部	3	総合医療センター	連携施設			<ul style="list-style-type: none"> ●大阪公立大学医学部附属病院 ●高槻病院 ●堺西ろうさい病院 ●大阪府済生会千里病院 ●りんくう総合医療センター ●福崎病院(関連施設) など 						
形成外科	形成外科	4	連携施設		総合医療センター		<ul style="list-style-type: none"> ●多根総合病院 ●京大津急性期メディカルセンター ●相生会 PL病院 ●八尾徳洲会総合病院 ●大阪公立大学医学部附属病院 ●大阪回生病院 など 						
	小児形成外科												
病理	病理診断科	3	総合医療センター	総合医療センターまたは連携施設			<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立十三市民病院 ●南大阪病院 ●大阪公立大学医学部附属病院 ●高槻病院 など 						
臨床検査	中央臨床検査部	3	総合医療センター(週1回連携施設で研修)				●大阪公立大学医学部附属病院						
総合診療	内科・小児科・救急	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター		<ul style="list-style-type: none"> ●豊岡病院 日高医療センター ●明来医療センター ●らっぽう診療所 ●福崎病院 						

サブスペシャリティ研修プログラム

専門研修プログラム修了者で、医師免許取得後5年以上の臨床経験を有した者が、より高度で専門的な知識や技能(サブスペシャリティ)の習得を行うため、日々の診療業務に従事しながら各分野のスペシャリストをめざします。また、専門領域の研鑽とともに、的確な判断・診療のできる指導者・チームリーダーとしての役割を果たせる能力の習得を図ります。

研修医たちの

1日

ここでは、研修医の先生方がどのように研修をおこなっているのか、1日のスケジュールを紹介します。ご協力いただいたのは、初期研修医・後期研修医(小児科・循環器内科・消化器外科)の5名の先生です。



初期研修医 初期研修医2年目

金澤さん 大阪公立大学 令和7年3月卒

成長できるサポートが、充実した環境。

大阪市内でも最大規模の病床数を有し、診療科が充実していることに魅力を感じ、当院に入職しました。病棟では入院患者さんの診察や処置を行っています。自分の選択した治療が上手くいったときや、患者さんから感謝の言葉をいただいたときにやりがいを感じます。診療科ローテーションに加え、各種委員会への参加や定期的なレクチャーなど、多彩な教育環境の中で知識と技術を身につけられる環境が整っています。ぜひ一緒に働きましょう。

— 1日のスケジュール —

出勤
8:00~
担当患者さんのカルテを見て、血液検査の結果や処方・点滴のオーダーに漏れがないかをチェックします。

気管支鏡検査に参加
9:00~
検査中の患者さんの吸痰や鎮静剤の投与を行います。指導医の先生に教えていただきながら、気管支鏡を実際に挿入することもあります。

病棟業務
13:00~
指導医の先生と一緒に胸水が溜まっている患者さんの胸腔穿刺や、肺がんと診断された患者さんへの病状説明を行います。

カンファレンス
16:00~
担当の患者さんの病歴や検査の結果、病状のアセスメントから今後の方針までを発表します。



専攻医(救命救急部) 専攻医2年目

藤田さん 北里大学 令和5年3月卒

医師としての可能性を広げられる環境が整っています。

当院では、多彩な専門分野の医師から、深く実践的な知識を学べる環境が整っています。救急科に所属しながら他科での研修が可能で、入職わずか2ヶ月で重症外傷のIVRに参加できるなど、早期から積極的に治療の最前線に立てることが大きな魅力です。患者さんが回復していく姿を見守りながら、日々成長を実感しています。興味のある分野に挑戦し、医師としての可能性を大きく広げられる環境で、私たちと一緒に成長しませんか。

— 1日のスケジュール —

勉強会
7:45~
金曜日の朝は、勉強会を行います。レジデントが勉強した内容や上級医の先生方の専門分野についてなど、内容は多岐に渡ります。

朝カンファレンス
8:15~
当直帯の医師からの引継ぎを行います。

ICU・外来・HCUの管理
9:00~
ICUチームと初療チームに分かれて仕事をを行います。ICUチームはICU管理を、初療チームは外来とHCUの管理を行います。

昼カンファレンス
13:00~
ICUでの昼カンファレンスを行います。初療チームも外来がなければ参加します。

夕方カンファレンス
16:30~
当直帯の医師に引継ぎを行います。



専攻医(循環器内科) 専攻医2年目

松村さん 徳島大学 令和5年3月卒

上級医の指導のもと、最先端の技術を体験できる環境。

当院には重症例を含む多様な症例が集まるため、循環器領域だけでなく内科全般を体系的に学ぶことができます。病棟業務やカテーテル、エコーなどを担当し、上級医のサポートを受けながら最先端の機器や手技を用いた診療を経験しています。自分の手で心筋梗塞や狭心症の患者さんを治療し、元気に退院される姿にやりがいを感じます。専攻医になったことで裁量や手技の幅が大きく広がり、充実した日々を送っています。

— 1日のスケジュール —

病棟回診
8:45~
入院患者さんへの回診、カルテ・検査結果の確認を行います。

通常業務
11:00~
内視鏡検査・治療、腹部エコー、外来・入院患者さんへの上下部内視鏡検査やERCP、ESDなどの治療、救急対応、病棟業務を行なっています。

カンファレンス
16:00~
消化器内科内でのカンファレンスに加え、病理診療科や腫瘍内科・放射線診断科といった他科ともカンファレンスを行います。症例の共有・振り返りや治療方針の決定、症例の勉強などを行なっています。

研修医たちの1日



専攻医(消化器外科) 専攻医3年目

坂元さん 大阪公立大学 令和4年3月卒

幅広い手術を経験し、消化器外科として成長できる。

当院の消化器外科は、数多くの症例が集まり、十分な手術経験を積めることが特徴です。緊急手術からロボット手術まで幅広く学べる環境に加え、多数のスタッフとの密な意見交換も可能。多様な専門科が揃っているため、消化器外科だけでは対応しきれない状況でも他科に相談し、診療の幅を広げることができます。患者さんが手術や病棟管理を通じて元気に退院していく姿を目にするたび、この仕事のやりがいを実感します。

— 1日のスケジュール —

8:15~ **カンファレンス**
前日の入院患者や重症患者について今後の方針の確認や振り返りを行います。週に一度のアカデミックカンファレンスでは論文の抄読会や研究についての報告などを行っています。

8:45~ **カテーテル**
カテーテルでの検査や治療を行います。冠動脈や末梢血管の治療、大動脈弁や僧帽弁などの弁膜症に対する治療など幅広く行っています。

12:00~ **緊急患者対応**
心筋梗塞や心不全などで救急搬送されてきた患者さんの対応をします。必要に応じて入院治療や緊急カテーテル検査を行います。

18:00~ **回診**
毎日1日の終わりに再入院の患者さんの回診を行います。患者さんと病棟スタッフとの情報共有を心がけてます。

— 1日のスケジュール — (小児科専攻医時)

8:30~ **カンファレンス**
入院中の患者さんのカルテを上級医の先生方と確認し、検査予定や治療方針を共有します。

9:00~ **病棟回診・処置**
入院患者を回診し診察します。必要なら採血などの処置を行い、検査結果をみて治療薬や輸液量の調整を行います。

13:00~ **検査・外来**
入院患者の画像検査の鎮静やエコー検査を行います。週1回は外来担当となり、地域からの紹介患者や基礎疾患のあるかかりつけ患者の診察を行い、必要なら入院治療を提案します。

16:00~ **病棟回診**
当日の検査結果や治療内容を親御様に説明します。長期的な見通しが立つ際は時間を取って治療方針をお伝えします。



シニアレジデント(小児血液・腫瘍内科)

シニアレジデント1年目(当院小児科専攻医を経てシニアレジデントへ)

大井さん 大阪公立大学 令和3年3月卒

子どもたちの笑顔をやりがいに、最高水準の医療を提供する。

幼い頃の入院体験がきっかけで小児科医をめざしました。現在は全国最高水準の医療を提供する当院で、入院患者の処置や救急対応を担当しています。子どもたちの笑顔とご家族が安堵される姿にやりがいをを感じる日々です。育休取得の推奨や院内保育の充実など、子育てと仕事の両立もしやすい環境です。一緒に働けることを楽しみにしています。

OSAKA CITY HOSPITAL Q & A

Q | 出身大学は? (令和7年4月現在)

A | 初期研修医では、大阪市立大学、高知大学、奈良県立医科大学、徳島大学、京都府立医科大学、広島大学などを卒業された方が在籍しており、後期研修医では、大阪市立大学、大阪大学、関西医科大学、徳島大学、奈良県立医科大学、大阪市立大学大学院、滋賀医科大学、京都府立医科大学、愛媛大学、京都大学などの全国の医系大学出身の方が在籍しています。

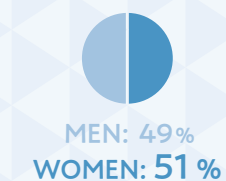
Q | 研修医は何名在籍していますか? (令和7年4月現在)

A | 市民病院機構全体で初期研修医は1年目18名、2年目19名(歯科含む)の計37名。後期研修医は専攻医が84名、シニアレジデントが69名、レジデントが1名の計153名が在籍しています。

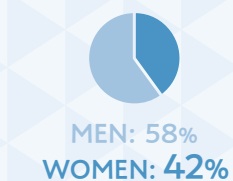
Q | 女性医師は何名在籍していますか? (令和7年4月現在)

A | 市民病院機構全体でスタッフ82名、初期研修医(歯科含む)22名、後期研修医69名の女性医師が在籍しています。女性の指導医も多く、親身になって相談にも応じていますので、女性の方も安心して研修を受けることが可能です。

【初期研修医男女比】



【後期研修医男女比】



Q | 子育て制度はありますか?

A | 総合医療センターの隣接地に、院内保育所を設置しています。また、産前・産後休暇や、子どもが急病の時などに取得が可能な、子の看護休暇、その他育児休業や短時間勤務の制度を設けています。

● 基本保育時間

一般保育(月~土)	07:30~20:30
一時保育(月~土)	07:30~20:30
日曜・祝日保育	07:30~20:30

※年末年始(12月29日~1月3日)除く

Q | 研修環境について教えてください。

A | 病院内に医局及び図書室を設置しています。また、総合医療センター隣にある都島センタービル内にはシミュレーションルームを設置しており、高機能シミュレーターを使ったシミュレーションや演習を行っています。



Q | 臨床研究センターについて教えてください。

A | 臨床研究センターにおいて、研究室及び動物実験室を利用した診断と治療に直結する臨床研究を行っています。また外科系では、手術のトレーニングと術式の開発にも実験室を利用しており、貴重な研修の場となっています。



そのほか、よく寄せられるご質問については、WEBサイトでご回答しております。
<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/resident/initial/about-2/>



HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪府都島区都島本通2丁目13番22号
TEL:06-6929-1221

日本の医療をリードする46の診療科をもつ高度急性期病院。

1,063床を有する大阪市内最大の病院で、11の臓器別センター、46の診療科を持ち、大阪市の中核病院として高度急性期医療を提供しています。医師はスタッフ303名、専修医・シニアレジデント75名、専攻医・レジデント83名、初期研修医が37名で全診療科に専門医が在籍しています。

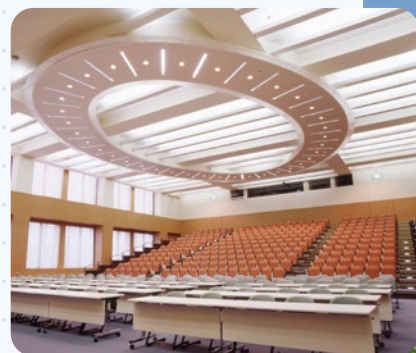
当院では、新生児から高齢者までのあらゆる手術を行っています。ハイブリット手術室もあり、低侵襲治療に力を入れています。全身麻酔件数は、全国6位、西日本1位の実績を誇ります。(令和5年度)「ロボット支援手術」をより広く、より早く患者さんに提供できるように、「ダビンチXi」を西日本で初めて2台体制に強化しました。その後、令和7年1月からは、最新の「ダビンチSP」を導入し、3台体制で稼働しています。がん医療では「地域がん診療連携拠点病院」、全国15カ所の「小児がん拠点病院」、「がんゲノム医療連携病院」に選ばれており、小児から成人までの幅広い年齢層にがん診療を実施して

います。小児医療では15の診療科・199床を有し、高度な専門医療を提供しています。周産期医療では「総合周産期母子医療センター」を有しており、救命救急センターや他の診療科と連携をすることで、リスクの高い妊産婦への対応や高度の新生児集中治療など安心・安全な高度周産期医療を提供しています。

救急医療では「3次救急医療機関」と「小児救命救急センター」、また市内唯一の「第1種感染症指定医療機関」でもあります。さらにスーパーICU、PICU、SCU、HCUはもとより、AYA世代病棟、成人と小児それぞれの精神科病棟も有しています。また総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる「急性期充実体制加算」を取得しており、大学病院本院なみの医療機能を有する「DPC特定病院群」や「地域医療支援病院」でもあります。日常診療以外にも、「臨床研究センター」で臨床研究や治験に積極的に取り組んでいます。

●高度専門的医療の提供

- 救命救急センター(3次救急)
- 小児救命救急センター
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 小児がん拠点病院
- 大阪府災害拠点病院
- 第一種・第二種感染症指定医療機関
- 総合周産期母子医療センター
- エイズ診療中核拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産婦人科診療相互援助システム基幹病院
- 新生児診療相互援助システム基幹病院
- 臨床研修指定病院(基幹型)
- 精神保健福祉法指定医療機関(緊急措置入院)
- 母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設
- がんゲノム医療連携病院
- 大阪府難病診療連携拠点病院



INTERVIEW



大阪市立総合医療センター
病院長

清水 貞利 病院長

医師として大事なものは何かをつかんで欲しい。

研修医の2年間は、これから長く社会に貢献するために、医師としての基礎を固める大切な期間です。当院は46ある診療科の専門的な医療だけでなく、プライマリ・ケアも学ぶことができ、幅広い領域で、質、量ともに十分な経験を積むことが可能です。また、当院には医師だけでなく、医療を支える様々な職種に多くの優秀なスタッフがいますので、豊富な臨床

経験を通して、医師としての考え方をしっかり学んで頂けるとと思います。患者さんのために何が出来るのかを考え、悩み、相談し、助け合い、努力を重ね、常に誠実に医療に向き合う姿勢を育てて欲しいと思います。我々は日本のこれからの医療を担う皆さんが医師として成長するためのあらゆるサポートをおこないます。安心して飛び込んでください。

DATA

●基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳が尊重されるよう配慮するとともに良質な医療を平等に提供する。
2. 大阪市の中核病院として地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化し、市民の「健康と生命を守る最後の拠り所」として必要な医療を提供する。
3. 医療安全対策への取り組みや個人情報の保護など安心して医療を受けられる環境を整備する。
4. 感染症医療、救急医療、災害医療、小児・周産期医療、精神医療などの政策医療ならびに臓器・疾患別の専門医療を提供する。
5. 最新の医療機器を導入するとともに臨床に直結する研究を行い、その成果を医療現場に還元することで医療水準の向上を図る。
6. 医療従事者のスキルを向上させる仕組み、キャリアアップの仕組みを実践することで専門的な知識や高度な先端技術を備えた医療人を育成する。
7. 健全な経営基盤を確保し、継続して良質な医療を提供できる体制を整備する。

●大阪市立総合医療センター 3Hの理念

Heart For Public Service	広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。
Humane	人間味あふれる温かな医療を実践する病院をめざす。
High Technology	高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

○病床数:1,063床 ○診療科目:総合診療内科/糖尿病・内分泌内科/腎臓・高血圧内科/精神神経科/脳神経内科/皮膚科/循環器内科/呼吸器内科/消化器内科/感染症内科/腫瘍内科/血液内科/緩和ケア内科/整形外科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/頭頸部外科/婦人科/形成外科/口腔外科/脳神経外科/心臓血管外科/呼吸器外科/消化器外科/乳腺外科/産科/新生児科/小児代謝内分泌・腎臓内科/小児脳神経・言語療法内科/小児循環器・不整脈内科/小児血液・腫瘍内科/児童青年精神科/小児外科/小児整形外科/小児泌尿器科/小児眼科/小児耳鼻いんこう科/小児形成外科/小児脳神経外科/小児心臓血管外科/小児救急・感染症内科/麻酔科/放射線診断科/放射線治療科/病理診断科/リハビリテーション科

さくら18病棟	18F	すみれ18病棟
さくら17病棟	17F	すみれ17病棟
さくら16病棟	16F	すみれ16病棟
さくら15病棟	15F	すみれ15病棟
さくら14病棟	14F	すみれ14病棟
さくら13病棟	13F	すみれ13病棟
さくら12病棟	12F	腎移植・透析部 外来化学療法室
さくら11病棟	11F	すみれ11病棟
さくら10病棟	10F	すみれ10病棟
さくら9病棟	9F	すみれ9病棟
さくら8病棟	8F	すみれ8病棟
さくら7病棟	7F	すみれ7病棟
さくら6病棟	6F	すみれ6病棟

5F	患者図書室、わくわくひろば、コンビニエンスストア、美容室、庭園	
4F	救命救急センター、集中治療センター	さくらホール
3F	手術センター、検体検査部門	
2F	画像診断部門、外来診療部門	
1F	外来診療部門、救命救急センター受付、ER・外傷センター、リハビリテーション部、カフェレストラン	駐車場 連絡通路
MB	設備スペース	
B1	核医学・放射線治療部門、物品管理供給部門、栄養部門	

HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市民立十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
TEL:06-6150-8000

地域の中核病院として急性期医療を担う。

長く続いた新型コロナウイルス感染症(新型コロナ)に対応するために、コロナ専門病院として約3年間、多くの感染症患者の受入を行ってまいりましたが、感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、現在では、コロナ禍以前の急性期医療を中心とした医療提供を全面再開しております。

当院は、20診療科からなる263床の総合病院であり、淀川以北における地域の中核病院、結核病棟を有する病院として専門医による急性期医療の提供に努めています。特色としては、主にがん領域において、消化管および胆膵領域の内視鏡検査ならびに治療を独立した内視鏡センターで行っており、消化器内科・消化器外科との協力的体制の下、悪性腫瘍患者の外科的処置や薬物療法への適応等を判断し、集学的がん診療の提供を行っています。消化器外科においては、鏡下手術を基本とし低侵襲治療を積極的に行っております。令和6年度からは、緩和ケア内科を新たに標榜し、緩和ケア医療の提供を行っており、令和7年度から緩和ケア病棟を開院いたしました。

一方、周産期医療については、母子同室での母乳育児を推奨し「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けています。また出産後の育児に不安を持った方を支援するために大阪市ならびに豊中市の産後ケア事業の委託を受け、出産後の母子の受入も行っています。

また、感染症医療については、政策医療として結核医療を提供するとともに新型コロナへの対応も継続しており、今後起こりうる新興感染症へ対応できる環境も整えております。さらに市町村災害医療センターとして、地域における災害医療の中心的な役割を担っています。

DATA

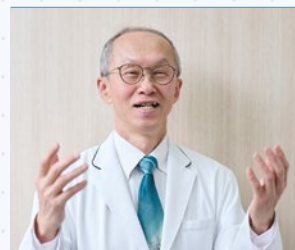
●大阪市民立十三市民病院 基本理念

市民に信頼され、地域に貢献する病院をめざします。
人間味あふれる温かな医療を実践する患者中心の病院をめざします。
将来にわたり、市民の医療ニーズに応える病院をめざします。

●病床数：263床 ●診療科目：総合診療内科／糖尿病・内分泌内科／循環器内科／呼吸器内科／感染症内科／小児科／消化器内科／緩和ケア内科／外科／消化器外科／整形外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／麻酔科／放射線科／病理診断科／リハビリテーション科

9F	すかいルーム・ヘリポート
8F	病棟(結核)
7F	病棟(緩和ケア)
6F	病棟(循環器内科、外科、消化器外科、整形外科)、HCU
5F	病棟(総合診療内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、眼科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、緩和ケア内科)
4F	病棟(新生児未熟児室、産婦人科、小児科)
3F	手術室、中央材料室
2F	外来診療室、中央臨床検査部
1F	総合案内、外来診療室、リハビリ、放射線科、薬剤科、ケモ室
B1	内視鏡センター、栄養部、機械室

INTERVIEW



大阪市民立十三市民病院 病院長

小川 佳成 病院長

共に学び、十三市民病院を作り上げていきましょう。

総合医療センターとの一体運営にて、公的病院として結核や感染症への対応を含めた政策医療も行いつつ淀川以北の2次医療圏を担う急性期病院として診療を行っています。地域医療を支えると同時に先端医療を行う使命もあり、次年度は低侵襲医療のためのロボット手術の導入も予定しています。医療現場において人材は宝であり、人材育成も我々の使命と位置付けています。当院では、いま全国の医療現場

で求められている、一般診療及び2次救急全般の初期対応ができる総合診療医としての研鑽を行い、早い時期から専門医を目指した内科、外科系の基本手技を学びます。さらに特化した専門診療の研鑽は総合医療センターと協力して行います。医療を支えるには皆さんの力が必要です。ともに学び、一緒にこの病院を作り上げて行きましょう。

- 施設認定など
- 救急告示病院(第2次救急医療機関)
- 大阪府がん診療拠点病院 ●臨床研修指定病院(協力型) ●紹介受重点医療機関 ●新生児診療相互援助システム協力病院 ●赤ちゃんにやさしい病院(BFH) ●市町村災害医療センター ●日本医療機能評価機構認定病院



学会等による施設認定の状況 (令和7年4月1日現在)

●大阪市民立総合医療センター

認定施設		
下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設	補助人工心臓治療関連学会協議会 IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設	日本耳科学会耳管ピン手術登録施設
呼吸器外科専門医合同委員会 (日本胸外科学会、日本呼吸器学会)専門研修基幹施設	JCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)参加施設 (肺がん内科、肺がん外科、食道がん、婦人科腫瘍、消化器内科グループ)	婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設認定	日本血液学会専門研修認定施設(血液内科)	日本緩和医療学会緩和医療専門薬剤師研修施設
日本足の外科学会教育研修施設	大阪府医師会優秀臨床検査室認定	日本心臓血管インターベンション治療学会研修施設
日本頭頸部外科学会頭頸部がん指定研修施設	日本医学会出生前検査認定制度等運営委員会出生前検査	日本産科婦人科学会産科腫瘍下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)登録施設A
日本アフェシ学会認定施設	NIPT認定医療機関 基幹施設	日本不整脈心電学会バルスフィールドアブレーション(FARAPULSE)認定施設
日本医学放射線学会画像診断管理認定施設 (MRI安全管理に関する事項、全身MRIに関する事項)	日本腎臓学会認定教育施設	日本集中治療医学会JIPAD事業参加施設(ICU・PICU)
日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関	日本高血圧学会研修施設	日本麻酔科学会麻酔科専門研修プログラム基幹施設
日本看護学会認定施設A	日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設)	日本免疫不全・自己免疫学会連携施設
日本がん治療認定機構認定研修施設	日本救急医学会指導医指定施設	総合診療専門医検討委員会総合診療専門研修プログラム基幹施設
日本形成外科学会形成外科専門研修プログラム基幹施設	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設	日本整形外科学会整形外科専門研修プログラム基幹施設
日本外科学会外科専門研修プログラム基幹施設	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定施設	日本精神神経学会精神科専門研修プログラム基幹施設
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設	日本小児科学会小児科専門研修プログラム基幹施設
日本口腔外科学会認定研修施設	日本小児感染症学会認定指導医(専門医)教育研修プログラム施設	
日本血液学会専門研修認定施設(小児血液腫瘍科)	日本消化器内視鏡学会指導施設	
日本中核学会認定専門医施設	日本消化器学会腎臓科指導施設	
日本心エコー図学会認定心エコー図専門医制度研修施設	日本眼科学会眼科専門研修プログラム基幹施設	
日本骨髄バンク非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設	日本脳卒中学会、脳卒中センター認定委員会一時脳卒中センター(PSC)コア施設	
日本骨髄バンク、日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間骨髄採取認定施設	日本脳卒中学会、施設認定・生涯教育委員会認定研修教育病院	
日本集中治療医学会専門医研修施設	日本神経血管内治療学会、専門医指導医認定委員会研修施設	
日本消化器外科学会専門医研修施設	日本胆道学会指導医制度指導施設	
日本消化器病学会認定施設	日本臨床病学会連携教育施設(小児科)	
日本小児血液・がん学会専門医研修施設	日本循環器学会循環器専門医研修施設	
日本人類遺伝学会、日本遺伝カウンセリング学会研修施設	日本循環器学会連携教育施設(小児科)	
日本腎臓学会認定指導施設	日本小児神経学会研修施設	
日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設	日本産科婦人科学会産婦人科専門研修プログラム基幹施設	
日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設	
日本整形外科学会研修施設	日本先天性心疾患インターベンション学会	
日本精神科救急学会暫定認定施設	日本心臓血管インターベンション治療学会教育委員会	
日本精神神経学会研修施設	経皮的心房中隔欠損閉鎖術施設	
日本骨髄移植学会骨髄移植外科専門医基幹研修施設	日本大腸肛門病学会認定施設	
日本骨髄移植学会骨髄移植外科専門医基幹研修施設	日本てんかん学会研修施設	
日本造血細胞療法学会非血縁者間末梢血幹細胞移植認定施設(認定カテゴリー)	日本神経学会教育施設	
日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医研修施設	日本小児科学会内科専門研修プログラム基幹施設	
日本総合病院精神医学会電気けいれん療法研修施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院	
日本超音波医学会超音波専門医研修施設	日本臨床検査医学会臨床検査専門研修プログラム基幹施設	
日本手外科学会基幹研修施設	日本食道学会食道外科専門医認定施設	
日本糖尿病学会認定教育施設	日本病理学会病理専門研修プログラム基幹施設	
日本内分泌学会認定教育施設	日本小児科学会小児科専門医研修施設	
日本内分科学会専門医制度関連施設	日本小児科学会小児科専門医研修施設	
日本皮膚科学会認定施設	日本消化器外科学会学会連携施設 (腹腔鏡下肝切除術・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術)	
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設(一次・二期再建/二次再建)	日本感染症学会研修施設	
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設(一次再建/二次再建)	日本小児循環器学会小児循環器専門医研修施設	
日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設	日本循環器学会左心閉鎖システム実施施設	
日本鼻科学会鼻科手術認可研修施設	日本適合性認定協会臨床検査室認定証	
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設(基幹施設)	
日本病院総合診療医学会認定施設	経カテーテル的動脈弁留置管理委員会	
日本病理学会研修認定施設B	経カテーテル的動脈弁留置術実施施設(Harmony)	
日本不整脈心電学会不整脈専門医研修施設	日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患専門医総合修練施設	
日本不整脈心電学会経皮的カテーテル心筋冷凍焼灼術[POLARx 冷凍アブレーションカテーテル]認定施設	日本先天性心疾患インターベンション学会体重25kg未満の動脈管閉鎖症に対するAMPLAZERピッコロカテーダーの適正使用施設	
日本不整脈心電学会経皮的カテーテル心筋冷凍焼灼術[クライオバルーン(Arcic Front Advance)]認定施設	日本先天性心疾患インターベンション学会、日本心臓血管インターベンション治療学会教育委員会	
日本放射線腫瘍学会認定施設	皮的動脈閉鎖術認定施設	
日本耳科学会耳科手術認可研修施設	認定臨床微生物検査技師制度協議会研修施設	
日本尿管学会認定研修指定施設	日本救急医学会救急科専門研修プログラム基幹施設	
日本リウマチ学会教育施設	日本透視医学会認定施設	
日本リハビリテーション医学会研修施設	日本神経外科学会専門研修プログラム連携施設	
日本臨床栄養代謝学会NST(栄養サポートチーム)稼働施設	日本小児外科学会認定施設	
日本臨床栄養代謝学会NST(栄養サポートチーム)認定教育施設	日本呼吸器学会認定施設	
日本臨床細胞学会教育研修施設	日本呼吸器内視鏡学会認定施設	
日本臨床細胞学会認定施設	日本婦人科腫瘍学会指定修練施設A	
日本臨床神経生理学学会認定施設va	日本アレルギー学会専門医教育研修施設	
	胸部外科教育施設協議会修練施設	
	日本周産期・新生児医学会母体・胎児専門医基幹認定施設	
	日本周産期・新生児医学会新生児専門医基幹認定施設	

●大阪市民立十三市民病院

認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本呼吸器学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
日本産科・新生児医学会認定施設・指定研修施設
日本消化器学会専門医制度認定施設
日本肝臓学会認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本大腸肛門病学会認定施設
日本消化器学会腎臓科指導施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度修練施設
日本医学放射線学会画像診断管理認定施設
日本骨髄バンク学会骨髄移植外科専門医研修施設
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
日本胆道学会指導医制度指導施設
日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
日本がん治療認定機構認定研修施設
日本整形外科学会研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設 拠点教育施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本麻酔科学会認定病院
日本臨床栄養代謝学会認定NST認定教育施設
日本臨床栄養代謝学会認定NST稼働施設
日本病理学会研修登録施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本乳がん検診制度管理中央機構マンモグラフィ検診施設・画像認定施設

病院見学会 (要予約)

納得のいく臨床研修にしたいと思う方はぜひお越しください。

初期研修については、医学部4・5・6回生を対象とした病院見学会を開催しています。開催日程等については、大阪市民病院機構ホームページをご覧ください。後期研修の病院見学については、随時受け付けております。

日程、対象者など詳しい情報はこちらからご確認ください。

初期臨床研修医：
<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/resident/initial/practice/>



後期臨床研修医：
<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/resident/late/practice/>

